

普及活動情勢報告（令和4年7月分）

高吾農業改良普及所

高糖度トマト生産者の経営目標達成に向けて～経営面談及び個別カウンセリングの開催～



普及所では7月5日から7月19日にかけて促成高糖度トマト生産者（17名/19名）を対象に、経営面談及び個別カウンセリングを実施しました。

生産者が昨年度にたてた経営目標や出荷量について、青色申告決算書や出荷実績のデータをもとに達成度を確認しているもので、次年度に向けた助言指導も同時に行っています。

生産者からは「雇用費の目安はどの程度が良いのか」や「収量低下の原因は、どんな対処法をとれば良いのか」などといった声が聞かれました。

普及所では継続的に巡回や勉強会を実施し、生産者が目標を達成するための支援をしていきます。

次作に向けて課題を把握し、経営安定を！（新規就農者面談）



佐川町担い手協議会では、7月11日から26日にかけて新規就農者（農業次世代人材投資資金活用者）15名の面談を実施しました。

露地ショウガ農家からは令和3年度の作は「単価安で目標収量に達した販売額が伸びなかった」、「資材高騰で今後も経営が厳しい」という声が聞かれました。また、施設トマト農家で目標収量達成ができなかった農家は「基本に立ち返り栽培技術を見直したい」と決意を新たにしていました。

普及所からは栽培技術や労力確保、経費の見直しなど課題に応じて助言指導を行いました。

普及所では、新規就農者が早期に経営安定できるように関係機関と協力しながら支援していきます。

ニラの品質向上及び腐敗事故防止に向けて～ニラ腐敗対策会議の開催～



7月15日、JA高知県斗賀野支所でニラ腐敗対策会議が開催され、26名の生産者が出席しました。

会議では、JAから販売情勢、収穫、荷作り、出荷等の腐敗対策等について説明がありました。また、GAPシートによる点検を実施しました。令和3園芸年度の市場事故は1件のみで、パーシャル包装の導入や生産者の品質向上への努力等により少なくなっています。

普及所からは、ニラの品質低下要因と防止対策、IoPプロジェクトの取り組みについて情報提供しました。IoPプロジェクトに対して生産者の理解が得られ、8名から出荷データ提供の同意が得られました。

普及所では、今後もJAと連携してニラの収量品質向上を支援していきます。